

平成24年度 第2回国立大学法人奈良教育大学教育研究評議会議事要旨

1. 日 時 平成24年5月16日(水) 13時30分～15時00分
2. 場 所 大会議室
3. 出席者 長友学長、生田理事、伊豆蔵副学長、中谷副学長、加藤副学長、玉村、越野、豊田、吉村、河上、松井、岡澤、池島の各評議員
陪席者 和田学長補佐
事務局 総務担当理事、総務企画課長、財務課長、施設課長、教務課長、入試課長、学術情報課長、大学改革主幹、総務企画課秘書担当係長

4. 議 題

◎審議事項

- 1 客員教員称号付与について(資料1)
- 2 研究倫理委員会規則の一部改正について(資料2)
- 3 教育研究評議会評議員が委員となっている委員会委員の選出について(資料3)
- 4 奈良教育大学と大和郡山市との連携協力に関する協定書(案)(資料4)

◎報告事項

- 1 平成24年度前期授業料等免除について(資料5)
- 2 平成24年度科学研究費補助金の採択状況等について(資料6)
- 3 教員養成高度化WGの進捗状況について(資料7)
- 4 寄附金の受入について(資料8)
- 5 国立大学改革強化事業推進経費について(資料9)
- 6 平成25年度概算要求等について
- 7 関連委員会からの報告について(資料10)

5. 議 事

◎審議事項

- 1 客員教員称号付与について
企画担当副学長から、資料1に基づき説明があり、審議の結果、宮廻なをみ氏に対し、客員教員の称号を付与することが挙手により承認された。
- 2 研究倫理委員会規則の一部改正について
企画担当副学長から、資料2に基づき説明があり、審議の結果、原案のとおり、研究倫理委員会規則の一部改正が承認された。
- 3 教育研究評議会評議員が委員となっている委員会委員の選出について
企画担当副学長から、資料3に基づき、前・松川評議員が委員となっていた委員会委員の欠員補充について説明があり、投票により、学長選考会議委員に岡澤祥訓評議員が、互選で研究倫理委員会委員に豊田弘司評議員が選出された。
- 4 奈良教育大学と大和郡山市との連携協力に関する協定書(案)
国際交流・地域連携担当副学長から、資料4に基づき、本学と大和郡山市との連携協力に関する協定書について説明があり、審議の結果、原案のとおり協定を締結することが承認された。

◎報告事項

- 1 平成24年度前期授業料等免除について

財務課長から、資料5に基づき、平成24年度前期授業料免除額について報告があった。

2 平成24年度科学研究費補助金の採択状況等について

研究担当副学長から、資料6に基づき、平成24年度科学研究費補助金採択件数、採択率、金額等について報告があった。

3 教員養成高度化WGの進捗状況について

教育担当理事から、資料7に基づき、教員養成高度化WGの進捗状況について報告があった。主な意見は以下のとおり。

○「組織の枠組みは再編しない」、とあるが、奈良県内で教員免許を取得出来る大学を視野に入れた場合、全入にはならないとしても、本学の教職大学院、修士課程の定員で十分と考えているのか。

また、定員枠を広げることに、広げる場合、原資等の議論は行っているのか。

→まだそこまでは議論は及んでいない。定員枠を広げるとしても、他大学の状況を見ながら、本学単独で考えるのか、連携を視野に修士化を考えていくのか、現時点ではまだ整理出来ていない。

→教員採用の需給関係の動向も見ながら考えていく。中教審の部会報告の方向性を考えると、今後は高度化に重きをおいていく。修士レベル化の方向にいくと考える。

現時点では、就職の動向も踏まえつつ、学部定員を大学院の定員に振り替える考え方もある。この場合、教職大学院と修士課程をどういうバランスにするか、Tモデルの中で、内容的に量的にどうするかといった具体的なことは、正式な委員会が発足してからの議論になるのではないか。

4 寄附金の受入について

学術情報課長から、資料8に基づき、2件の寄附受入について報告があった。

5 国立大学改革強化事業推進経費について

教育担当理事から、資料9に基づき、教員養成の高度化による「学び続ける教員」養成・研修システムの構築（案）について説明があり、今後、この原案を基に文部科学省と意見交換を行うとの報告があった。

6 平成25年度概算要求等について

総務担当理事から、平成25年度概算要求スケジュールについて説明があり、今後の教育研究評議会の日程、文部科学省への提出締切日の関係から、教育研究評議会で事後報告となる可能性がある旨の報告があった。

7 関連委員会からの報告について

附属学校部長から資料10に基づき、4月26日に開催の附属学校部運営委員会の議事内容について報告があった。